

船舶事故調査報告書

平成 21 年 8 月 20 日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘

委員 楠 木 行 雄

委員 横 山 鐵 男（部会長）

委員 山 本 哲 也

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明(平成20年12月27日10時35分ごろ無人の本船が養殖いかだに乗り揚げているのが発見された。)
発生場所	不明(本船発見場所は、山口県長門市油谷湾江ノ島西方約1,100m付近(概位 北緯34°24.0 東経130°57.4)であった。)
事故調査の経過	平成21年1月5日、本事故の調査を担当する主管調査官(門司事務所)ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 漁船登録番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <small>ふくりょうまる</small> 福漁丸 1.08トン YG3-38195 個人所有 7.04m×1.46m×0.54m、木 ガソリン機関(船外機) 30kW 昭和50年2月28日
乗組員等に関する情報	船長 男性 69歳 旧二級小型船舶操縦士(総トン数5トン未満の船舶) 免許登録日 昭和50年12月26日 免許証交付日 平成14年5月1日 (平成19年4月30日をもって失効)
死傷者等	死亡 1人(船長)
損傷	福漁丸：右舷船首水線付近に約10cmの擦過傷 養殖筏：竹製枠に長さ約50cmの割損
事故の経過	本船は、平成20年12月27日10時ごろ、船長が1人で乗り組み、山口県長門市大浦漁港を発し、刺し網漁の目的で、同県油谷町三石鼻北西方の海域に向かった。 本船は、10時30分ごろ大浦漁港沖を南下中のところを目撃された後、同時35分ごろ養殖施設に乗り揚げているところを発見された。 発見者は、船長不在であることに気付き、海上保安庁等に通報した。 発見時、本船の機関は、クラッチレバーが前進位置で、スロットルレバー

	<p>がほぼ全速力の状態であった。</p> <p>船長の捜索活動が続けられたが、翌21年1月6日海上保安庁及び所属組合の捜索活動は打ち切られた。</p> <p>平成21年6月8日、22時00分ごろ本船発見場所から南南西約5,000mの油谷港阿川防波堤灯台の北方約1,000m付近で揚網していた底びき網漁船により船長の遺体が発見され、歯型から船長本人と確認されたが、死因は不詳であった。</p>								
気象・海象	<p>気象：天気 晴、風向 北北西、風力 1</p> <p>海象：波高 0.1m</p>								
その他の事項	<p>船長は、出港前に飲酒していた。船長はふだんから飲酒状態に出漁することが多く、所属漁業協同組合では、飲酒して操縦しないように指導していた。</p> <p>発見されたとき、船長は救命胴衣を着用していなかった。</p>								
分析	<table border="0"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td> <p>船長が死亡したのは、1人で乗り組み、漁場に向けて航行中、落水したことによる可能性があると考えられる。</p> <p>船長が落水した理由は、明らかにすることができなかった。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	不明	船体・機関等の関与	不明	気象・海象の関与	なし	判明した事項の解析	<p>船長が死亡したのは、1人で乗り組み、漁場に向けて航行中、落水したことによる可能性があると考えられる。</p> <p>船長が落水した理由は、明らかにすることができなかった。</p>
乗組員等の関与	不明								
船体・機関等の関与	不明								
気象・海象の関与	なし								
判明した事項の解析	<p>船長が死亡したのは、1人で乗り組み、漁場に向けて航行中、落水したことによる可能性があると考えられる。</p> <p>船長が落水した理由は、明らかにすることができなかった。</p>								
原因	<p>本事故は、本船が山口県長門市油谷湾において、大浦漁港から漁場に向けて航行中、船長が落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>								